

いま地球で何が起きているか —— 地球温暖化を中心として ——

LECTURER

講師
花輪 公雄
(はなわ きみお)

2010
4/17

15:30-16:30

仙台市天文台 (加藤・小坂ホール) | 無料

地表面の気温は、変動を伴っていますが、ここ 150 年の

間で次第に上昇していることが分かりました。

この現象を「地球温暖化」と呼んでいます。

これは、人類が石炭や石油を消費した

ため、二酸化炭素などの「温室効果気

体」が大気中に増えたからです。温暖

化の影響は、様々なところに現れてい

ます。例えば海では、海水が暖まった結

果、海面の上昇が起こり、また、二酸化炭素

を吸収した結果、海水の酸性化も進んでいます。海

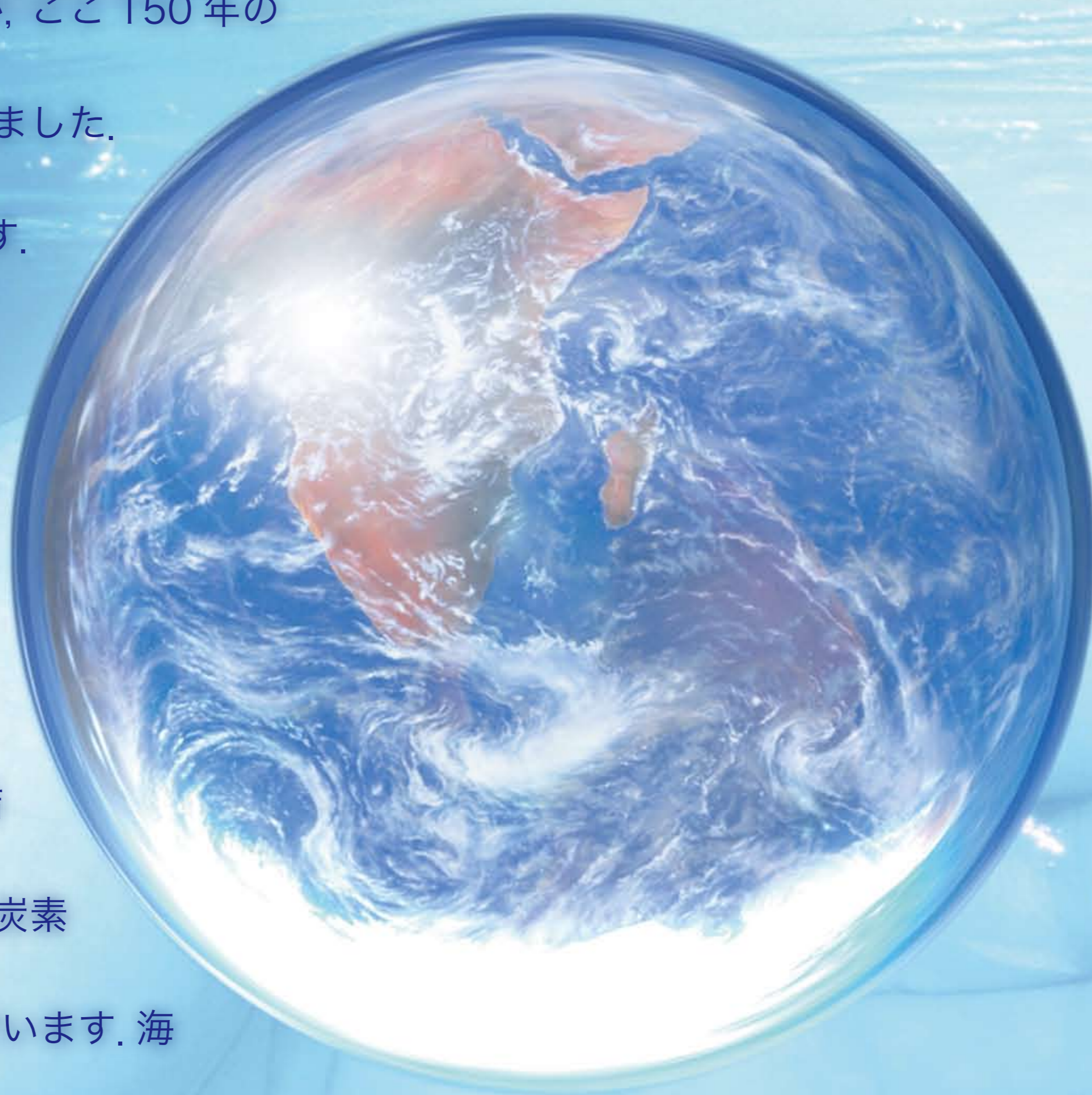
水の酸性化は、海洋の生態系に大きな影響を与えられ

ています。いま、地球はこれまで経験したことのない状況にあると言っ

ても言いすぎではありません。講演では、地球温暖化の現状と、その影響

について、IPCC (気候変動に関する政府間パネル) の最新の報告書に基

づいて紹介することにします。



Profile

講師プロフィール



花輪 公雄 (はなわ きみお)

生年月日	1952(昭和 27) 年 10 月 19 日 (57 歳)
現 職	東北大学 大学院 理学研究科 教授、理学研究科長・理学部長
所 属	地球物理学専攻 地球環境物理学講座 (海洋物理学分野)
専門分野	海洋物理学 (特にエルニーニョなどの大規模大気海洋相互作用の研究)
学 歴	1976(昭和 51) 年 3 月 東北大学 理学部 卒業 1981(昭和 56) 年 3 月 東北大学 大学院理学研究科 博士課程後期 単位取得退学 (就職の為)
職 歴	1981(昭和 56) 年 4 月 東北大学 理学部 助手 1985(昭和 60) 年 3 月 東北大学 理学部 講師 1987(昭和 62) 年 12 月 東北大学 理学部 助教授 1994(平成 6) 年 4 月 東北大学 理学部 教授 1995(平成 7) 年 4 月 東北大学 大学院理学研究科 教授 (配置替え) 2008(平成 20) 年 4 月 東北大学大学院理学研究科長・理学部長 現在に至る

学術団体の現在の役職

- * 日本学術会議 連携会員 (2006 年度から)
- * 気象庁 気候問題懇談会 座長 (2006 年度から)
- * 日本海洋学会 副会長 (2007 年度から)

受賞歴

- 日本気象学会 堀内賞 (1989(平成元) 年度)
- 受賞課題名: 北太平洋の大規模海面水温変動に関する研究
- 日本海洋学会 学会賞 (2000(平成 12) 年度)
- 受賞課題名: 太平洋亜熱帯表層水塊の変動の実証的研究

特記事項

- 2007 年ノーベル平和賞を受賞した IPCC (気候変動に関する政府間委員会) の第 4 次評価報告書の作成に主要執筆者として参加。

趣味

- 読書 (ジャンルは問わない)、美術館訪問

応募方法

a 氏名 b 年齢 c 電話番号を明記の上、はがきか FAX にて「温暖化講演会係」宛て申込。電話での申込みも可。先着順。定員になり次第締切。

応募対象

大学生・一般…50 名

お申込み・お問い合わせ

仙台市天文台 TEL 022-391-1300
FAX 022-391-1301